

平成 26 年度

事 業 報 告 書

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

学校法人 聖和学園

1 法人の概要

(1) 建学の精神

本学園は一宗一派によらない仏教を教育の理念とし、宗教的情操の涵養に重きをおき、知育、体育、徳育の養成に努めることを教育の方針としている。宗教の授業や仏教行事を通し、釈尊の教えを心の糧として人格の陶冶と勉学に励むことを目的とする学園である。

本学園は、昭和5年宮城県仏教会の仏教精神による高等女学校設立の発願により、仏教的情操教育を建学の精神とし、開校以来70有余年の伝統と歴史をもつ女子教育機関として、その社会的使命を果たしてきた。しかしながら、時代の趨勢を考慮し、平成15年度から男女共学化を実施した。現在は幼稚園、高等学校、短期大学を擁し、一貫教育を目指している。

(2) 学校法人の沿革

昭和 4 年 (1929 年)

4 月 宮城県仏教会発足、仏教精神による高等女学校設立を計画

9 月 学校設立基金として吉田つぎ女史の篤志寄付を受ける

昭和 5 年 (1930 年)

3 月 伊澤平左衛門を設立者として、高等女学校令により開校認可

校名「吉田高等女学校」、校長 木村匡、総定員 400 名

昭和 11 年 (1936 年)

3 月 「財団法人吉田高等女学校」となる (初代理事長 伊澤平馬)

昭和 14 年 (1939 年)

4 月 「吉田専修女学園」設置 (修業年限 1 年)

昭和 19 年 (1944 年)

3 月 「吉田専修女学園」廃止

昭和 23 年 (1948 年)

4 月 「聖和学園」と改称。「吉田高等学校」、「吉田中学校」併設

昭和 26 年 (1951 年)

2 月 「学校法人聖和学園」設置

4 月 「聖和学園短期大学」開設 (国文科、被服科)

昭和 29 年 (1954 年)

4 月 「聖和幼稚園」開設

昭和 38 年 (1963 年)

4 月 短期大学に保育科開設

昭和 46 年 (1971 年)

4 月 法人本部事務局設置

昭和 54 年 (1979 年)

3 月 「吉田中学校」廃校

昭和 61 年 (1986 年)

4 月 「吉田高等学校」を「聖和学園高等学校」に校名変更

昭和 63 年 (1988 年)

4 月 「聖和学園短期大学」移転 (仙台市南中山 5 丁目 5 - 2)

平成 5 年 (1993 年)

4 月 短期大学「被服科」を「生活文化科」へ学科名変更

平成 11 年 (1999 年)

7 月 短期大学の定員 250 名認可

平成 15 年 (2003 年)

4 月 短期大学「国文科」の募集を停止し、「人間コミュニケーション学科」設置
高等学校を男女共学化し、「薬師堂キャンパス」新築移転、「三神峯キャンパス」設置

平成 17 年 (2005 年)

4 月 短期大学「人間コミュニケーション学科」、「生活文化科」の募集を停止し、
「キャリア開発総合学科」設置

平成 19 年 (2007 年)

4 月 短期大学の「保育科」の募集を停止し、「保育福祉学科」設置

(3) 設置する学校の内容

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学 定員(a) 人	志願者 数 人	合格者 数 人	入学者 数(b) 人	(b)/(a) %	収 容 定 員 (c) 人	現員(d) 人	(d)/(c) %
聖和学園短期大学 (仙台市泉区南中山 5 丁目 5-2)	キャリア開発総合学科	(H17)	130	199	171	167	128.5	260	329	126.5
	保育福祉学科	(H19)	120	276	131	124	103.3	240	245	102.1
	短期大学(計)	S26	250	475	302	291	116.4	500	574	114.8
聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス (仙台市若林区木ノ下 3 丁目 4-1) 三神峯キャンパス (仙台市太白区土手内 2 丁目 1-1)	全日制普通課程 (薬師堂キャンパス)	(H15)	390	2,337	2,218	489	125.4	1,200	1,270	105.8
	(三神峯キャンパス)	(H15)	190	822	761	202	106.3	600	558	93.0
	高等学校(計)	S23	580	3,159	2,979	691	119.1	1,800	1,828	101.6
聖和幼稚園 (仙台市若林区木ノ下 4 丁目 3-14)		S29	130	89	89	83	63.8	300	243	81.0

(参考) 平成 27 年度の状況

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学 定員(a) 人	志願者 数 人	合格者 数 人	入学者 数 (b) 人	(b)/(a) %	収 容 定 員 (c) 人	現員(d) 人	(d)/(c) %
聖和学園短期大学 (仙台市泉区南中山 5 丁目 5-2)	キャリア開発総合学科	(H17)	130	156	143	139	106.9	260	307	118.1
	保育福祉学科	(H19)	120	260	129	128	106.7	240	252	105.0
	短期大学 (計)	S26	250	416	272	267	106.8	500	559	111.8
聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス (仙台市若林区木ノ下 3 丁目 4-1) 三神峯キャンパス (仙台市太白区土手内 2 丁目 1-1)	全日制普通課程 (薬師堂キャンパス)	(H15)	390	2,734	2,455	508	130.3	1,200	1,392	116.0
	(三神峯キャンパス)	(H15)	190	764	717	181	95.3	600	561	93.5
	高等学校 (計)	S23	580	3,498	3,172	689	118.8	1,800	1,953	108.5
聖和幼稚園 (仙台市若林区木ノ下 4 丁目 3-14)		S29	100	84	84	84	84.0	300	245	81.7

(4) 役員概要

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

① 理事

定員数 (10~13 名) 現員 (11 名)

区 分	氏 名	勤務区分	現 職	住 所
理 事 長	スズキ シゲオ 鈴木 繁雄	非常勤	会社役員	仙台市
常務理事	チバ ノブヒロ 千葉 信博	常 勤	-	仙台市
常務理事	ナルミ ワタル 鳴海 渉	常 勤	短期大学学長	仙台市
理 事	トイ シュウイチ 戸井 秀一	常 勤	高等学校校長	仙台市
理 事	アライ サナエ 荒井 早苗	常 勤	幼稚園園長	仙台市
理 事	キタザワ タカオ 北澤 隆男	常 勤	法人事務局長	仙台市
理 事	キムラ アキヨ 木村 昭代	常 勤	短期大学副学長	仙台市
理 事	シコダ ふさ 志子田 ふさ	非常勤	会社役員	仙台市
理 事	コンノ アツシ 今野 敦之	非常勤	会社役員	仙台市
理 事	アベ カンクロウ 阿部 勘九郎	非常勤	会社役員	塩釜市
理 事	カマタ トシヒロ 鎌田 智裕	非常勤	学校法人役員	仙台市

* 荒井早苗、北澤隆男は H27. 3. 31 付退任し、後任は永山伸樹、猪又淳一である。(H27. 4. 1 付)

* 鳴海渉は理事となった。(H27. 4. 1 付)

② 監事

定員数 (3 名) 現員 (3 名)

区 分	氏 名	勤務区分	現 職	住 所
監 事	コンノ マモル 今野 守	非常勤	会社役員	仙台市
監 事	ワタライ コウジュン 渡会 弘純	非常勤	無職	富谷町
監 事	イヌカイ ヤスハル 犬飼 泰治	非常勤	会社役員	仙台市

(5) 評議員の概要

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

定員数 (21 名～41 名) 現員 (31 名)

氏 名	主な現職等	氏 名	主な現職等
鈴木 繁雄	理事長	浅野 傳	会社員
千葉 信博	常務理事	針生 信夫	会社役員
鳴海 渉	常務理事	赤井澤 孝子	会社役員
戸井 秀一	理事	及川 澄子	無職
荒井 早苗	理事	佐久間美江子	無職
北澤 隆男	理事	菅原 幸枝	高等学校教諭
木村 昭代	理事	高城 弘子	無職
志子田 ふさ	理事(会社役員)	狭間 美枝子	無職
今野 敦之	理事(会社役員)	大和田 槇子	無職
阿部 勘九郎	理事(会社役員)	金山 富彦	宗教法人役員
鎌田 智裕	理事(学校法人役員)	鎌田 文恵	学校法人役員
松村 万里子	短期大学教授	真田 昌行	弁護士
宮東 幸七	短期大学事務部長	大宮司 慎一	高等学校職員
庄司 伸一	高等学校副校長	高橋 誠也	弁護士
佐々木 弘	高等学校事務長	星 尚文	宗教法人役員
吉田 憲三郎	無職		

* 荒井早苗、北澤隆男は H27. 3. 31 付退任し、後任は永山伸樹、猪又淳一である。(H27. 4. 1 付)

* 吉田憲三郎は第 2 号評議員から、第 6 号評議員に就任した。(H27. 4. 1 付)

(6) 教職員の概要

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

部 門	区 分	教 員	職 員	合 計
法人事務局	本 務	0	7	7
	非常勤・兼務	0	0	0
	計	0	7	7
短期大学	本 務	28	15	43
	非常勤・兼務	103	4	107
	計	131	19	150
高等学校	本 務	100	13	113
	非常勤・兼務	49	16	65
	計	149	29	178
幼稚園	本 務	13	2	15
	非常勤・兼務	3	2	5
	計	16	4	20
合 計	本 務	141	37	178
	非常勤・兼務	155	22	177
	計	296	59	355

2 事業の概要

本学園は、平成18年度より第一次長期経営計画（平成18年度～20年度）、第二次長期経営計画（平成21年度～23年度）を策定しその推進を行い、建学の精神に基づく教育活動を行ってきた。平成26年度は、それに続く第三次長期経営計画（平成24年度～26年度）の最終年度にあたる。

第三次長期経営計画では、「直面する現実的な社会的諸問題の摘出」を行い、その「問題・課題打開の方向性の視点」や、教育行政の基本的方向性をも認識したうえで、本学園の目指すべき学園像を以下のとおりとした。

- ・私学を取り巻く環境変化を的確に理解・認識し、教育機関に対する社会的要請及び教育改革への的確な対応をはかるとともに、明確な目標・課題の設定とその達成によって高い社会的評価を得る「教育成果」を顕在化させる学園。
- ・学生生徒・保護者・企業及び教職員等の関係当事者の視点に立ったニーズの捕捉及びその満足度の向上と競争的環境の下における特色を有する個性輝く学園。
- ・教育機関の経営環境を見据えながら、私学としての事業領域の見直し、学科・コース等のスクラップ&ビルドの実施及び教職員の能力向上、人材育成をはかる学園。
- ・各種法・制度の改廃に的確に対応し、学園の諸制度・組織機構の見直しと業務の合理化・効率化をはかり、健全優良な財務体質を持つ強固かつ安定した経営体質を有する学園。

(1) 学校法人聖和学園

①組織の管理・運営

A. 諸規程の整備ならびに組織改正

現状の諸規程の見直しを行い、危機管理規程の制定を行ったほか、諸規程の新設、改廃を行い、組織体制の整備を行った。

また、10月より高等学校組織に臨時的な組織として入試センターと国際交流センターを設置し、各種ニーズに対応できる組織づくりを行った。（入試センター、国際交流センターについては平成27年4月より恒常的な組織として設置）

B. 基幹システムの入替

平成24年度～26年度の3年間にわたり「第三次IT化推進計画」を立案し、ハード・ソフトの両面から全面的な見直しを行い、基幹システムの入替を実施した。

平成26年4月より基幹システム（短大教務・高校教務・会計・学費・給与等）が稼働し、事務の効率化等に寄与している。

平成26年度までに実施済の主な設備更新等は以下のとおりである。

システムハードウェア更新	約33百万円
基幹システムソフトウェア更新	約59百万円
短大・高校情報教室パソコン入替等	約60百万円

教職員用パソコン入替	約 18 百万円	
その他	約 51 百万円	計 221 百万円

②内部統制の強化

A. 内部監査室による監査の実施

平成 26 年 4 月 1 日付で理事長直轄の独立した組織として内部監査室を設置し、各部門が法令および各種規程等に沿った業務運営がなされているか検証を行った。

B. 監事監査の実施

本学園の監事 3 名が本学園各部門の業務監査ならびに会計監査を実施している。理事会・評議員会をはじめとした各種会議への出席のほか、各種帳票等の閲覧、会計監査人との意見交換等を通じ、各部門の業務運営の適切性を検証している。

③広報活動の充実

・ 学園ホームページの見直し

平成 26 年 1 月に学園ホームページのサーバをマルチドメイン対応サーバに変更したことに続き、11 月に短期大学のホームページについて全面リニューアルを行い、より見やすく使いやすいホームページへと改善を行った。

(2) 聖和学園短期大学

①学校教育法改正等への対応

・ 学内諸規程の見直し

学校教育法および学校教育法施行規則の一部改正(平成 27 年 4 月施行)に伴い、教授会規程等の諸規程を見直し、教授会の役割、教育研究活動等の校務における学長の決裁権限、副学長の職務等を明確にした。あわせて、「科研費の不正使用に関するガイドライン」等の改正に対応するため、科研費取扱いに関する関連規程の改廃、基本方針の制定(平成 27 年 4 月施行)等を行い、コンプライアンス体制の強化を図った。

②教育活動

A. 大学ポートレートへの参加

大学ポートレートへの参加により、教育情報、学生支援体制等、情報発信の強化に努めた。

B. 社会ニーズへの対応と「保育士資格取得特例講座」の開設

保育士養成の充実・強化という社会ニーズに対応するため、保育福祉学科内の定員を変更し、保育専攻の入学定員、総定員の増員を行った。(介護福祉専攻は減員)
また、幼稚園教諭免許のみを有する方々を対象として、保育士資格の取得を目的とした「保育士資格取得特例講座」を開設した。(7 月～8 月開催)

C. 教育環境の充実

短期大学基準協会による第三者評価を受審し、平成 26 年 3 月に「適格」とする

高い評価結果を受領した。これを受け、学修成果のPDCAサイクルを一層充実させるため、基礎学力向上のための環境整備、共通科目受講の選択肢の拡充、CAP制度の導入(27年4月)を行った。

③学生支援

A. 修学支援制度の拡充

「聖和学園修学支援制度」に基づき、東日本大震災により被災した学生や、経済的理由により修学が困難な学生に対し、入学金、検定料や授業料の免除等を継続して行った。

また、所定の各種資格を取得した学生に対し、資格取得奨励金を支給するなど修学支援を拡充した。

B. 進路支援の充実

教職員一体となった学生の進路支援を行った結果、平成26年度の進路決定率は全体で98%となり極めて高い水準となった。特に保育専攻では11年連続して100%を維持し、介護福祉専攻でも100%の進路決定率となった。

また、進路先では公務員、金融関係への合格者が増加した。特に、保育専攻学生の公務員合格者は20%を上回る過去最高水準となった。

④学生募集

A. カリキュラムの充実

学生の多様なニーズに応えるためキャリア開発総合学科に新設したカフェユニットや司書・公務員系、ビジネス情報・金融系のカリキュラムの充実を図った。

加えて、保育福祉学科内の入学定員変更により、平成26年度の入学生は東日本大震災前の水準を回復し、入学定員充足率は116.4%となった。

B. オープンキャンパスの継続開催

平成25年度に引き続き、オープンキャンパスを7月、8月、3月の計3回開催し、パンフレットだけではわからない短期大学の雰囲気や実際のキャンパスライフを広く公開した。

⑤地域への貢献・地域との連携

A. 地域行事等への参加

泉環境祭(6月)、みやぎ夢燈花(9月)、南中山文化祭(11月)、仙台光のページェント(12月)など各種地域行事にすずめ踊りやハンドベル、YOSAKOIチームが参加するなど、積極的な活動を行った。

B. 地域との連携

いずみ絆プロジェクトへの参画(YOSAKOI、介護専攻ボランティア活動)により地域との連携を強化するとともに、「聖和総合教育」の一環として本学周辺の清掃活動を実施した。

(3) 聖和学園高等学校（薬師堂キャンパス、三神峯キャンパス）

①教育活動

A. ICT(情報通信技術)による教育活動

薬師堂・三神峯両キャンパスの共通事業として、タブレット型端末を複数台導入し、授業内でのデジタル資料（動画等）の活用を図った。

また、先進的なICT教育活動の一環として、生徒の学習支援を目的とした「聖和ポータルサイト」の開発に取り組んだ。

「聖和ポータルサイト」は平成27年4月から稼働したが、開発段階においては文部科学省の私立高等学校等IT教育設備整備推進事業として助成金の対象となった。

また、動画配信型授業に関し、本校の研究『学内ポータルサイトを活用したICT教育活動の提案』が、パナソニック教育財団の一般研究費助成対象と認められ、研究助成金の対象となるICT研究実践校と認定された。

B. 特別進学コースの学力向上と意識高揚

三神峯キャンパスでは、特別進学選抜コースの生徒を対象として、「朝自習」や「放課後講習」等に取り組み学力の向上を図った。

また、資格取得にも積極的に取り組み、コースの生徒全員に数学検定、英語検定および漢字検定を受験させるとともに、大学の出前授業や大学見学を実施し、ほぼ全員にセンター試験を受験させるなど資格取得や大学進学に向けた意識の高揚を図った。

C. 課外活動への取組み

学習活動以外の課外活動にも力を入れており、各種スポーツで顕著な成績をあげている。

*主な部活動実績（平成26年度 県大会準優勝以上）

部活動名	結 果
バスケットボール (男子)	全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会宮城県大会準優勝 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会ベスト16
バスケットボール (女子)	全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会宮城県大会優勝 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会出場（2回戦進出）
ハンドボール	男子：宮城県高校総体優勝 東北高校選手権準優勝 女子：宮城県高校総体優勝 東北高校選手権準優勝 全国選抜大会ベスト16
サッカー (男子)	全日本高等学校サッカー選手権大会宮城県大会優勝 全日本高等学校サッカー選手権大会出場（2回戦進出）

部活動名	結 果
サ ッ カ ー (女子)	皇后杯全日本女子サッカー選手権大会東北大会優勝 全日本高等学校女子サッカー選手権大会ベスト 8 全日本選手権ベスト 32
新 体 操	宮城県高校総体個人・団体優勝 東北新人大会団体・準優勝 インターハイ・全国選抜出場
卓 球	宮城県高校総体女子団体優勝 インターハイ団体ベスト 16
空 手 道	宮城県高校総体個人形優勝 宮城県新人戦個人形・組手・団体形優勝 インターハイ個人形 5 位
バレーボール (女子)	宮城県高校総体準優勝 東北高等学校選手権第 3 位
ソフトテニス	宮城県高校総体団体女子準優勝・個人女子準優勝 インターハイ出場
ソフトボール	宮城県新人大会優勝 全国選抜大会出場 (2 回戦進出)
水 泳	宮城県新人戦個人平泳ぎ 100m 第 1 位 宮城県高校総体個人平泳ぎ 100m 第 2 位
ゴ ル フ	東北高校ゴルフ選手権第 3 位
硬 式 テ ニ ス	宮城県高校総体団体女子 (優勝) インターハイ出場
吹 奏 楽	日本学校合奏コンクール 2014 全国大会ソロ&アンサンブルコン テスト団体・第 3 位
チアリーディング	東北大会第 2 位 チアリーディング日本選手権出場

②進路指導および実績

A. 3 年間を見据えた進路指導の実施

薬師堂・三神峯両キャンパスともに、高校生活 3 年間を見据えた進路指導を実施している。ホームルームや総合の時間を利用し、進路ガイダンスを行うとともに、インターンシップや職場見学、看護体験など体験型の進路学習を取入れ、職業理解を通じて生徒が将来の目標をより明確にできるような工夫を行っている。

B. 進学実績

平成 26 年度卒業生の進路は以下のとおりとなっている。

薬師堂キャンパス・・・国公立大学 3 名、私立大学 120 名、短期大学 35 名

三神峯キャンパス・・・国公立大学 2 名、私立大学 81 名、短期大学 7 名

③生徒募集

A. 県内中学校との連携強化

各教員に担当中学校を割り振り、中学校訪問を実施した。

また、中学校での進路説明会や進路講演会への講師派遣を行ったほか、中学生の学校訪問受入れ等、積極的な募集活動を実施した。

B. オープンキャンパスの継続開催

学校案内等印刷物の内容・デザインを工夫するなどして広報に努めた結果、オープンキャンパスへの参加者数は前年比 314 名の増加となった。

(4) 聖和幼稚園

①園児数確保に向けた取組み

A. 預かり保育の実施

早朝保育(7 時 30 分～8 時 30 分)や延長保育(～18 時)の実施により、仕事を持つ若い保護者家庭の支援を行っている。

B. 未就園児へのアプローチ

子育て支援事業として、「すくすくくらぶ」や「すくすく広場」を継続開催したほか、公開保育や運動会等の行事に招待した。この結果「すくすくくらぶ」「すくすくひろば」の在籍者 90 名のうち 34(昨年度 27 名)名が平成 27 年度に入園申込みを行った。

C. 広報体制の充実

ホームページのリニューアルを行ったほか、各種行事や公開保育の情報等も随時更新を行った。

②教育活動

A. 仏教保育の充実

仏教三大行事(花まつり・成道会・涅槃会)や勤行等、また日常の園活動を通した中で、仏教精神の教育を継続して実施している。

B. 英語教室の実施

英語教育のニーズの高まりに対応し、平成 20 年から英語教室を実施している。平成 26 年度は年長児 9 回、年中児 9 回、年少児 3 回実施した。今後、回数・時間の増加を検討していく。

C. 園外保育

園外保育の一環として、ちびっこ農園や遠足等を行った。さつまいもの栽培や団

体行動、自然とのふれあいを通じ、収穫のよろこびや公共のマナーを学ぶよい機会となっている。

D. お泊まり保育

年長児を対象としてお泊り保育を実施している。自立心の養成に役立ったほか、友達と協働で生活したことにより、学びを深める体験教育となっている。

③地域との連携

- ・ 地域との連携

地域住民の皆様の協力により、園行事（夏祭り、バザー、ポスター掲示など）を行っている。

3 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表の状況

(資産の部)

(単位：円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資 産	固定資産	11,447,307,570	11,517,837,047	△ 70,529,477
	有形固定資産	9,563,098,870	9,681,996,921	△ 118,898,051
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	0
	建物	4,664,051,089	4,784,464,428	△ 120,413,339
	その他の有形固定資産	789,874,377	788,359,089	1,515,288
	その他の固定資産	1,884,208,700	1,835,840,126	48,368,574
	流動資産	1,492,491,862	1,481,377,931	11,113,931
	現金預金	1,367,750,387	1,268,945,874	98,804,513
	その他の流動資産	124,741,475	212,432,057	△ 87,690,582
合計	12,939,799,432	12,999,214,978	△ 59,415,546	

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

(単位：円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
負 債	固定負債	1,113,300,933	1,256,391,699	△ 143,090,766
	長期借入金	962,970,000	1,107,410,000	△ 144,440,000
	退職給与引当金	150,330,933	147,917,629	2,413,304
	その他の固定負債	0	1,064,070	△ 1,064,070
	流動負債	781,717,755	793,767,091	△ 12,049,336
	短期借入金	144,440,000	144,440,000	0
	その他の流動負債	637,277,755	649,327,091	△ 12,049,336
合計	1,895,018,688	2,050,158,790	△ 155,140,102	
基 本 金	第1号基本金	13,104,049,530	13,047,253,493	56,796,037
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	0
	合計	13,273,049,530	13,216,253,493	56,796,037
消費収 支差額	翌年度繰越消費支出超過額	2,228,268,786	2,267,197,305	△ 38,928,519
	合計	△ 2,228,268,786	△ 2,267,197,305	38,928,519
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計		12,939,799,432	12,999,214,978	△ 59,415,546

貸借対照表の概要

平成26年度末の本学園の総資産額は約129億円となり、前年比59百万円の減少となった。「有形固定資産」は当年度の減価償却等により119百万円減少したものの、減価償却引当特定資産の組入46百万円により「固定資産」全体では前年比71百万円の減少となった。「流動資産」については、退職者の減少により未収入金が91百万円減少したものの、現金預金が99百万円増加し、全体では前年比11百万円の増加となった。

「負債の部」は、借入金の返済等による固定負債の減少を主因として、全体では155百万円の減少となった。「未払い金」は上記退職者の減少による減少分が93百万円あったものの、薬師堂校舎の多目的コート新設、三神峯校舎の修繕に伴う未払い金等の発生に伴い28百万円の減少にとどまった。

②収支計算書の状況

ア. 資金収支計算書

(資金収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,625,713,000	1,634,547,352	△ 8,834,352
手数料収入	50,001,000	49,354,100	646,900
寄付金収入	4,300,000	4,448,220	△ 148,220
補助金収入	791,632,000	787,190,601	4,441,399
国庫補助金収入	116,594,000	113,275,000	3,319,000
地方公共団体補助金収入	675,038,000	673,915,601	1,122,399
資産運用収入	12,746,000	13,826,816	△ 1,080,816
事業収入	109,817,000	108,808,441	1,008,559
雑収入	78,581,000	79,330,634	△ 749,634
前受金収入	337,538,000	338,531,363	△ 993,363
その他の収入	1,235,326,000	1,297,806,763	△ 62,480,763
資金収入調整勘定	△ 433,807,000	△ 439,566,996	5,759,996
前年度繰越支払資金	1,268,945,874	1,268,945,874	
資金収入の部合計	5,080,792,874	5,143,223,168	△ 62,430,294

(資金支出の部)

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,512,552,000	1,501,949,649	10,602,351
教育研究経費支出	604,716,000	553,365,188	51,350,812
管理経費支出	305,795,000	280,259,387	25,535,613
借入金等利息支出	16,512,000	16,511,630	370
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	0
施設関係支出	53,215,000	53,214,724	276
設備関係支出	56,749,000	54,415,770	2,333,230
資産運用支出	83,665,000	83,664,487	513
その他の支出	1,263,385,000	1,294,656,032	△ 31,271,032
(予備費)	(13,455,000)		
	36,545,000		36,545,000
資金支出調整勘定	△ 193,236,000	△ 207,004,086	13,768,086
次年度繰越支払資金	1,196,454,874	1,367,750,387	△ 171,295,513
資金支出の部合計	5,080,792,874	5,143,223,168	△ 62,430,294

資金収支計算書の概要

本年度の資金収支は、収入で62百万円予算を上回った一方、支出で1億9百万円予算を下回った。

「収入の部」は、学生数の増加により「学生生徒納付金収入」が予算を9百万円上回ったほか、「その他の収入」が予算を62百万円上回ったが、「補助金収入」、「事業収入」がそれぞれ4百万円、1百万円予算を下回った。

一方「支出の部」は、「人件費支出」が予算を11百万円下回ったほか、「教育研究経費支出」、「管理経費支出」がそれぞれ51百万円、26百万円予算を下回ったが、「その他の支出」が予算を31百万円上回った。

イ. 消費収支計算書

(消費収入の部)

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,625,713,000	1,634,547,352	△ 8,834,352
手数料	50,001,000	49,354,100	646,900
寄付金	7,514,000	8,825,669	△ 1,311,669
補助金	791,632,000	787,190,601	4,441,399
国庫補助金	116,594,000	113,275,000	3,319,000
地方公共団体補助金	675,038,000	673,915,601	1,122,399
資産運用収入	12,746,000	13,826,816	△ 1,080,816
事業収入	109,817,000	108,808,441	1,008,559
雑収入	78,581,000	79,400,634	△ 819,634
帰属収入合計	2,676,004,000	2,681,953,613	△ 5,949,613
基本金組入額	△ 62,543,000	△ 56,796,037	△ 5,746,963
消費収入の部合計	2,613,461,000	2,625,157,576	△ 11,696,576

(消費支出の部)

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
人件費	1,516,423,000	1,504,362,953	12,060,047
教育研究経費	805,248,000	755,642,478	49,605,522
管理経費	324,685,000	300,948,922	23,736,078
借入金等利息	16,512,000	16,511,630	370
資産処分差額	8,054,000	8,053,899	101
徴収不能額	212,000	59,175	152,825
徴収不能引当金繰入額	1,279,000	650,000	629,000
(予備費)	(2,085,000)		
	47,915,000		47,915,000
消費支出の部合計	2,720,328,000	2,586,229,057	134,098,943
当年度消費収入超過額	0	38,928,519	
当年度消費支出超過額	106,867,000	0	
前年度繰越消費支出超過額	2,267,197,305	2,267,197,305	
翌年度繰越消費支出超過額	2,374,064,305	2,228,268,786	

消費収支計算書の概要

本年度の「帰属収入」は26億82百万円となり、予算を6百万円上回った。

「収入の部」は、資金収支と同様「学生生徒納付金」が予算を9百万円上回ったほか、「寄付金」、「資産運用収入」、「雑収入」がそれぞれ1百万円予算を上回った。「補助金」は予算を4百万円下回った。

「支出の部」は、「人件費」をはじめ全ての科目で予算を下回った。

なお、「減価償却費」については、「教育研究経費」「管理経費」合わせて222百万円と昨年度とほぼ同額であった。

上記の結果、2年ぶりに消費収入が消費支出を上回り、39百万円の消費収入超過となった。

(2) 経年比較

①貸借対照表

(資産の部)

(単位：円)

科 目		24年度	25年度	26年度
資 産	固定資産	11,613,149,048	11,517,837,047	11,447,307,570
	有形固定資産	9,805,654,528	9,681,996,921	9,563,098,870
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	4,109,173,404
	建物	4,931,585,041	4,784,464,428	4,664,051,089
	その他の有形固定資産	764,896,083	788,359,089	789,874,377
	その他の固定資産	1,807,494,520	1,835,840,126	1,884,208,700
	流動資産	1,307,698,058	1,481,377,931	1,492,491,862
	現金預金	1,181,336,010	1,268,945,874	1,367,750,387
	その他の流動資産	126,362,048	212,432,057	124,741,475
合計	12,920,847,106	12,999,214,978	12,939,799,432	

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

(単位：円)

科 目		24年度	25年度	26年度
負 債	固定負債	1,401,966,747	1,256,391,699	1,113,300,933
	長期借入金	1,251,850,000	1,107,410,000	962,970,000
	退職給与引当金	145,035,293	147,917,629	150,330,933
	その他の固定負債	5,081,454	1,064,070	0
	流動負債	655,636,882	793,767,091	781,717,755
	短期借入金	144,440,000	144,440,000	144,440,000
	その他の流動負債	511,196,882	649,327,091	637,277,755
合計	2,057,603,629	2,050,158,790	1,895,018,688	
基 本 金	第1号基本金	12,948,607,063	13,047,253,493	13,104,049,530
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	169,000,000
	合計	13,117,607,063	13,216,253,493	13,273,049,530
消費収 支差額	翌年度繰越消費支出超過額	2,254,363,586	2,267,197,305	2,228,268,786
	合計	△ 2,254,363,586	△ 2,267,197,305	△ 2,228,268,786
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計		12,920,847,106	12,999,214,978	12,939,799,432

②収支計算書

ア. 資金収支計算書 三ヵ年比較

(資金収入の部)

(単位：円)

科目	24年度	25年度	26年度
学生生徒等納付金収入	1,434,540,931	1,496,659,019	1,634,547,352
手数料収入	50,611,800	49,133,800	49,354,100
寄付金収入	4,250,000	4,696,860	4,448,220
補助金収入	812,341,844	785,305,146	787,190,601
国庫補助金収入	130,099,000	127,614,000	113,275,000
地方公共団体補助金収入	682,242,844	657,691,146	673,915,601
資産運用収入	12,711,327	13,213,983	13,826,816
事業収入	70,392,245	108,606,100	108,808,441
雑収入	74,849,358	192,796,270	79,330,634
前受金収入	333,520,548	356,442,763	338,531,363
その他の収入	1,035,843,568	1,053,530,322	1,297,806,763
資金収入調整勘定	△ 368,647,564	△ 507,129,184	△ 439,566,996
前年度繰越支払資金	995,706,670	1,181,336,010	1,268,945,874
資金収入の部合計	4,456,120,727	4,734,591,089	5,143,223,168

(資金支出の部)

(単位：円)

科目	24年度	25年度	26年度
人件費支出	1,427,224,565	1,580,903,845	1,501,949,649
教育研究経費支出	452,357,658	484,893,475	553,365,188
管理経費支出	252,235,280	254,601,450	280,259,387
借入金等利息支出	20,555,070	18,533,350	16,511,630
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	144,440,000
施設関係支出	1,807,050	8,278,024	53,214,724
設備関係支出	64,850,693	90,189,764	54,415,770
資産運用支出	70,825,552	62,222,696	83,664,487
その他支出	954,183,252	1,053,114,213	1,294,656,032
資金支出調整勘定	△ 113,694,403	△ 231,531,602	△ 207,004,086
次年度繰越支払資金	1,181,336,010	1,268,945,874	1,367,750,387
資金支出の部合計	4,456,120,727	4,734,591,089	5,143,223,168

イ. 消費収支計算書 三ヵ年比較表

(消費収入の部)

(単位：円)

科目	24年度	25年度	26年度
学生生徒等納付金	1,434,540,931	1,496,659,019	1,634,547,352
手数料	50,611,800	49,133,800	49,354,100
寄付金	6,700,949	6,155,649	8,825,669
補助金	812,341,844	785,305,146	787,190,601
国庫補助金	130,099,000	127,614,000	113,275,000
地方公共団体補助金	682,242,844	657,691,146	673,915,601
資産運用収入	12,711,327	13,213,983	13,826,816
事業収入	70,392,245	108,606,100	108,808,441
雑収入	74,849,358	192,796,270	79,400,634
帰属収入合計	2,462,148,454	2,651,869,967	2,681,953,613
基本金組入額	△ 45,252,668	△ 98,646,430	△ 56,796,037
消費収入の部合計	2,416,895,786	2,553,223,537	2,625,157,576

(消費支出の部)

(単位：円)

科目	24年度	25年度	26年度
人件費	1,428,327,965	1,583,786,181	1,504,362,953
教育研究経費	661,467,393	690,873,269	755,642,478
管理経費	264,889,698	271,014,536	300,948,922
借入金等利息	20,555,070	18,533,350	16,511,630
資産処分差額	3,743,110	1,237,920	8,053,899
徴収不能額+引当金繰入額	5,322,975	612,000	709,175
消費支出の部合計	2,384,306,211	2,566,057,256	2,586,229,057
当年度消費収入超過額	32,589,575	0	38,928,519
当年度消費支出超過額	0	12,833,719	0
前年度繰越消費支出超過額	2,286,953,161	2,254,363,586	2,267,197,305
翌年度繰越消費支出超過額	2,254,363,586	2,267,197,305	2,228,268,786

(3) 主な財務比率比較

(単位：%)

比 率	算 式 (×100)	24年度	25年度	26年度
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	3.2%	3.2%	3.6%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	98.7%	100.5%	96.4%
消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	96.8%	96.8%	96.4%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	58.3%	56.4%	60.9%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	58.0%	59.7%	56.1%
人件費依存度率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	99.6%	105.8%	92.0%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	26.9%	26.1%	28.2%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	10.8%	10.2%	11.2%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	199.5%	186.6%	190.9%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	18.9%	18.7%	17.2%
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	84.1%	84.2%	85.4%

自己資金=基本金+消費収支差額

総資金=負債+基本金+消費収支差額

(4)借入金の状況

借入金総額： 1,107,410,000 円

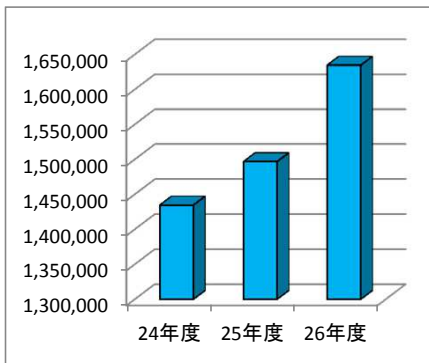
借入先： 日本私立学校・振興共済事業団

■ グラフによる資料

(単位：千円)

1. 学生生徒納付金

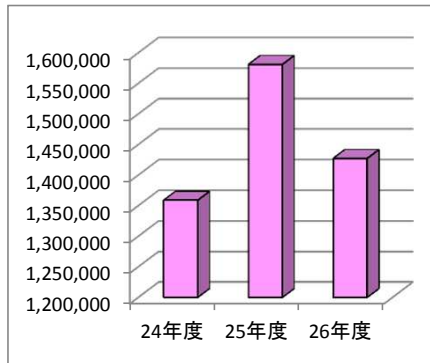
(資金収支：学生生徒納付金収入)



	24年度	25年度	26年度
学生生徒納付金収入	1,434,540	1,496,659	1,634,547

2. 人件費

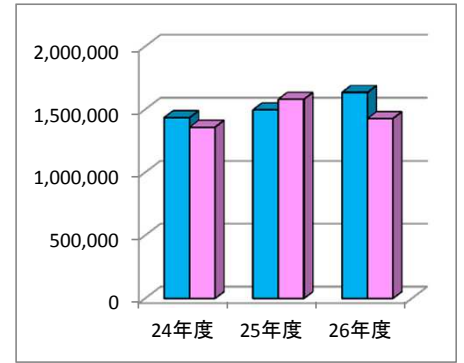
(資金収支：人件費-退職金は除く)



	24年度	25年度	26年度
人件費	1,358,735	1,580,904	1,427,171

3. 学納金と人件費

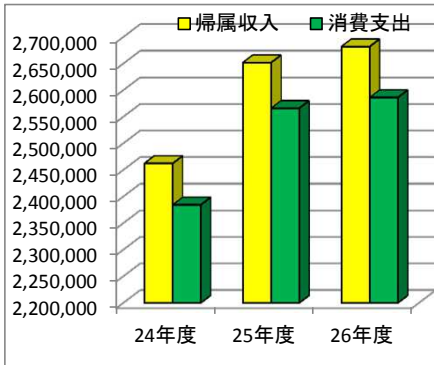
(退職金を除く人件費支出、学納金)



	24年度	25年度	26年度
学納金	1,434,540	1,496,659	1,634,547
人件費	1,358,735	1,580,904	1,427,171

4. 帰属収入と消費支出

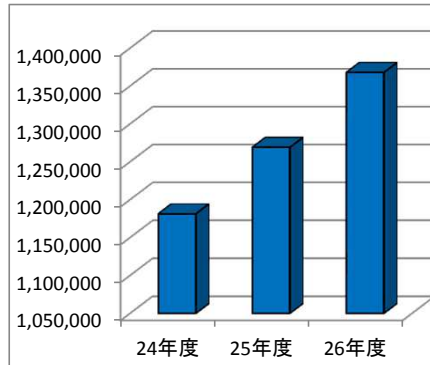
(消費収支計算書：帰属収入合計額)



	24年度	25年度	26年度
帰属収入	2,462,148	2,651,870	2,681,953
消費支出	2,384,306	2,566,057	2,586,229

5. 手持ち支払資金

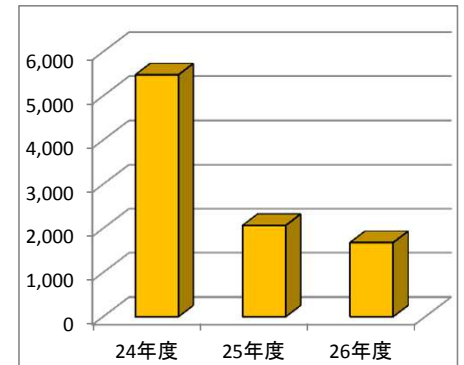
(資金収支：次年度繰越支払資金)



	24年度	25年度	26年度
次年度繰越支払資金	1,181,336	1,268,946	1,367,750

6. 学生生徒納付金の未収額

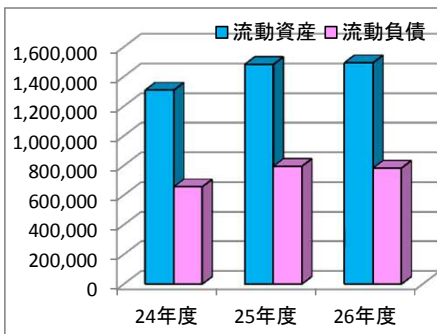
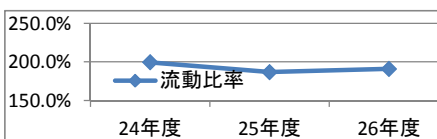
(期末未収入金・学納金関係)



	24年度	25年度	26年度
学納金の未収	5,477	2,066	1,677

7. 流動比率

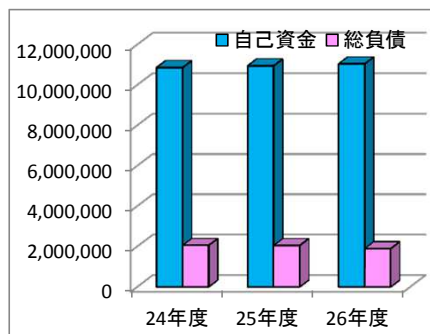
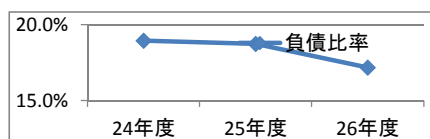
(貸借対照表：流動資産、流動負債)



	24年度	25年度	26年度
流動比率	199.5%	186.6%	190.9%
流動資産	1,307,698	1,481,378	1,492,492
流動負債	655,637	793,767	781,718

8. 負債比率

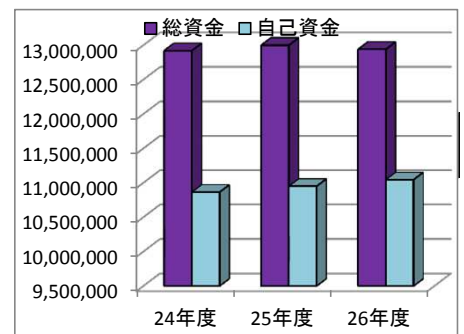
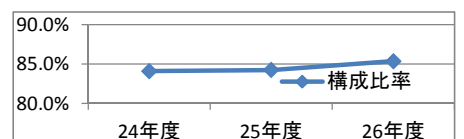
(貸借対照表：総負債、自己資金)



	24年度	25年度	26年度
負債比率	18.9%	18.7%	17.2%
自己資金	10,863,243	10,949,056	11,044,781
総負債	2,057,603	2,050,159	1,895,019

9. 自己資本構成比率

(総資金、自己資金)



	24年度	25年度	26年度
構成比率	84.1%	84.2%	85.4%
総資金	12,920,847	12,999,215	12,939,799
自己資金	10,863,243	10,949,056	11,044,781